

農薬取締法第三条第二項の規定により定められた同条第一項第四号から第七号までに掲げる場合に該当するかどうかの基準を定める等の件第四号の環境大臣の定める基準を定める件（平成五年環境庁告示第三十五号）の一部を改正する件新旧対照条文（抜粋）

改 正 案	現 行																						
<p>1 農薬取締法第2条第2項第3号の事項についての申請書の記載に従い水田において当該種類の農薬を使用した場合に、その使用に係る水田の水中における当該種類の農薬の成分の150日間における平均濃度は、次の表の農薬の成分の欄に掲げる農薬の成分にあっては、同表の基準値の欄に掲げる濃度を超えることとなつてはならない。この場合の濃度の試験法は、2のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="241 576 1099 1350"> <thead> <tr> <th>農薬の成分</th> <th>基準値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3 イソプロピル 1H 2, 1, 3 ベンゾチアジジン 4(3H) オン 2, 2 ジオキシドのナトリウム塩（別名ベンタゾンのナトリウム塩）</td> <td>2 mg/l</td> </tr> <tr> <td>(略)</td> <td></td> </tr> <tr> <td><u>(削除)</u></td> <td><u>(削除)</u></td> </tr> <tr> <td>(略)</td> <td></td> </tr> <tr> <td><u>(2E) - 2 - (メトキシイミノ) - 2 - { 2 - [ (3E, 5E, 6E) - 5 - (メトキシイミノ) - 4, 6 - ジメチル - 2, 8 - ジオキサ - 3, 7 - ジアザノナ - 3, 6 - ジエン - 1 - イル ] フェニル } - N - メチルアセトアミド（別名オリサストロピン）</u></td> <td>1 mg/l</td> </tr> </tbody> </table>	農薬の成分	基準値	3 イソプロピル 1H 2, 1, 3 ベンゾチアジジン 4(3H) オン 2, 2 ジオキシドのナトリウム塩（別名ベンタゾンのナトリウム塩）	2 mg/l	(略)		<u>(削除)</u>	<u>(削除)</u>	(略)		<u>(2E) - 2 - (メトキシイミノ) - 2 - { 2 - [ (3E, 5E, 6E) - 5 - (メトキシイミノ) - 4, 6 - ジメチル - 2, 8 - ジオキサ - 3, 7 - ジアザノナ - 3, 6 - ジエン - 1 - イル ] フェニル } - N - メチルアセトアミド（別名オリサストロピン）</u>	1 mg/l	<p>1 農薬取締法第2条第2項第3号の事項についての申請書の記載に従い水田において当該種類の農薬を使用した場合に、その使用に係る水田の水中における当該種類の農薬の成分の150日間における平均濃度は、次の表の農薬の成分の欄に掲げる農薬の成分にあっては、同表の基準値の欄に掲げる濃度を超えることとなつてはならない。この場合の濃度の試験法は、2のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="1135 576 1991 1114"> <thead> <tr> <th>農薬の成分</th> <th>基準値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3 イソプロピル 1H 2, 1, 3 ベンゾチアジジン 4(3H) オン 2, 2 ジオキシド（<u>別名ベンタゾン</u>）及びそのナトリウム塩（別名ベンタゾンのナトリウム塩）</td> <td>2 mg/l</td> </tr> <tr> <td>(略)</td> <td></td> </tr> <tr> <td><u>ブチル 2, 3 - ジヒドロ - 2, 2 - ジメチルベンゾフラン - 7 - イル N, N - ジメチル - N, N - チオジカルバマート（別名フラチオカルプ）</u></td> <td>0.08mg/L</td> </tr> <tr> <td>(略)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	農薬の成分	基準値	3 イソプロピル 1H 2, 1, 3 ベンゾチアジジン 4(3H) オン 2, 2 ジオキシド（ <u>別名ベンタゾン</u> ）及びそのナトリウム塩（別名ベンタゾンのナトリウム塩）	2 mg/l	(略)		<u>ブチル 2, 3 - ジヒドロ - 2, 2 - ジメチルベンゾフラン - 7 - イル N, N - ジメチル - N, N - チオジカルバマート（別名フラチオカルプ）</u>	0.08mg/L	(略)	
農薬の成分	基準値																						
3 イソプロピル 1H 2, 1, 3 ベンゾチアジジン 4(3H) オン 2, 2 ジオキシドのナトリウム塩（別名ベンタゾンのナトリウム塩）	2 mg/l																						
(略)																							
<u>(削除)</u>	<u>(削除)</u>																						
(略)																							
<u>(2E) - 2 - (メトキシイミノ) - 2 - { 2 - [ (3E, 5E, 6E) - 5 - (メトキシイミノ) - 4, 6 - ジメチル - 2, 8 - ジオキサ - 3, 7 - ジアザノナ - 3, 6 - ジエン - 1 - イル ] フェニル } - N - メチルアセトアミド（別名オリサストロピン）</u>	1 mg/l																						
農薬の成分	基準値																						
3 イソプロピル 1H 2, 1, 3 ベンゾチアジジン 4(3H) オン 2, 2 ジオキシド（ <u>別名ベンタゾン</u> ）及びそのナトリウム塩（別名ベンタゾンのナトリウム塩）	2 mg/l																						
(略)																							
<u>ブチル 2, 3 - ジヒドロ - 2, 2 - ジメチルベンゾフラン - 7 - イル N, N - ジメチル - N, N - チオジカルバマート（別名フラチオカルプ）</u>	0.08mg/L																						
(略)																							

2 試験法

(7) ベンタゾンのナトリウム塩試験法

ア~カ 略

(略)

(103) 削除

(略)

(140) オリサストロピン試験法

ア 装置 紫外分光光度型検出器付き高速液体クロマトグラフを用いる。

イ 試薬試液

アセトニトリル アセトニトリル(特級)

塩化ナトリウム 塩化ナトリウム(特級)

酢酸エチル 酢酸エチル(特級)

ヘキサン ヘキサン(特級)

無水硫酸ナトリウム 無水硫酸ナトリウム(特級)

固相抽出カラム 内径1.5mm、長さ6.5mmのカラムにカラムクロマトグラフィ用C<sub>18</sub>シリカゲル(シリカゲルにオクタデシルシランを化学的に結合させたもの)1000mgを充てんしたもの又はこれと同等の性能を有するもの

オリサストロピン標準品 本品は、オリサストロピン99.4%以上を含み、融点は98.4~99.0である。

(2E)-2-(メトキシイミノ)-2-[2-[(3E,5Z,6E)-5-(メトキシイミノ)-4,6-ジメチル-2,8-ジオキサ-3,7-ジアザノナ-3,6-ジエン-1-イル]フェニル]-N-メチルアセトアミド(以下、「5Z異性体」という。) 標準品 本品は、5Z異性体99.7%以上を含み、融点は95.3である。

(2E)-2-(メトキシイミノ)-2-[2-[(3E,5E,6Z)-5-(メトキシイミノ)-4,6-ジメチル-2,8-ジオキサ-3,7-ジアザノナ-3,6-ジエン-1-イル]フェニル]-N-メチルアセトアミド(以下、「6Z異性体」という。) 標準品 本品は、6Z異性体99.0%以上を含み、融点は115.6である。

ウ 試験溶液の調製

A法 溶媒抽出法

2 試験法

(7) ベンタゾン及びベンタゾンのナトリウム塩の試験法

ア~カ 略

(略)

(103) フラチオカルブ試験法

ア~カ 略

(略)

試料100 mlを300 mlの分液漏斗に量り取り、塩化ナトリウム5 g並びにヘキサン及び酢酸エチルの混液(9:1)50 mlを加え、振とう機を用いて5分間激しく振とうし、暫時放置した後、有機溶媒層を分取する。残った水層についても、ヘキサン及び酢酸エチルの混液(9:1)50 mlを加え、同様の振とう及び分取の操作を繰り返す。全有機溶媒層を300 mlの三角フラスコに合わせ、無水硫酸ナトリウム20 gを加え、時々振り混ぜながら30分間放置した後、300 mlのナス型フラスコ中にろ過する。使用した三角フラスコをヘキサン及び酢酸エチルの混液(9:1)10 mlで洗い、その洗液でろ紙上の残留物を洗い、その洗液をナス型フラスコに合わせ、すり合わせ減圧濃縮器を用いて40以下で溶媒を留去する。この残留物にアセトニトリル及び蒸留水の混液(1:1)を加えて溶かし、4 mlとして試験溶液とする。

#### B法 固相抽出法

試料100 mlを、あらかじめアセトニトリル5 ml、次いで蒸留水5 mlを流し入れ洗浄した固相抽出カラムに毎分10~20 mlの流速で流し入れ、次いで蒸留水10 mlを流し、流出液を捨てた後、約1分間通気又は遠心分離を行い水分を除去する。アセトニトリル5 mlで展開し、溶出液を50 mlのナス型フラスコに取り、すり合わせ減圧濃縮器を用いて40以下で溶媒を留去する。この残留物にアセトニトリル及び蒸留水の混液(1:1)を加えて溶かし、4 mlとして試験溶液とする。

#### エ 高速液体クロマトグラフの操作条件

充てん剤 シリカゲルにオクタデシルシランを化学的に結合させたものを用いる。

分離管 内径2~6 mm、長さ15~30 cmのステンレス管を用いる。

分離管槽温度 40

溶離液 アセトニトリル及び蒸留水の混液(1:1)を用い、オリサストロピン、5 Z異性体及び6 Z異性体がそれぞれ11~17分で流出するように流速を調整する。

検出器 波長250 nmで測定する。

感度 オリサストロピン、5 Z異性体及び6 Z異性体のそれぞれ1 ngが十分確認できるように感度を調整する。

#### オ 検量線の作成

オリサストロピン標準品、5 Z異性体標準品及び6 Z異性体標準品のそれぞれ500 mg / lアセトニトリル溶液を調製し、各溶液

を等量ずつ合わせ取ったものをアセトニトリル及び蒸留水の混液（1：1）で希釈し、オリサストロビン、5 Z異性体及び6 Z異性体の0.025～0.5 mg / l混合溶液を数点調製し、それぞれを40 μlずつ高速液体クロマトグラフに注入し、縦軸にピーク高又はピーク面積、横軸に重量を取ってオリサストロビン、5 Z異性体及び6 Z異性体の検量線を作成する。

カ 定量試験

A法又はB法の試験溶液から40 μlを取り、高速液体クロマトグラフに注入し、オの検量線によりオリサストロビン、5 Z異性体及び6 Z異性体のそれぞれの重量を求める。このオリサストロビンの重量の値、5 Z異性体の重量の値及び6 Z異性体の重量の値を和し、これに基づき、試料中のオリサストロビンの濃度を算出する。